

# 東洋経済／第21回CSR調査(2025年) 1.雇用・人材活用編

ご多用中誠に恐縮ですが、8月19日(火)の期限までに「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。

●以下、前回ご回答いただきましたご担当者様名等を出力しております。変更がある場合は、赤字でご修正ください

御社名： <b>㈱東洋経済工業</b>	ご回答担当者名： <b>東洋太郎</b>
※傘下会社名： (御社が純粋持株会社の場合に記入)	同、部署名： <b>人事部</b>
※単体ベース以外での ご回答の場合、その内容：	同、TEL： <b>03-3246-0000</b>
小社使用コード： (この欄は小社で入力)	同、E-Mail： <b>tk@toyokeizai.co.jp</b>

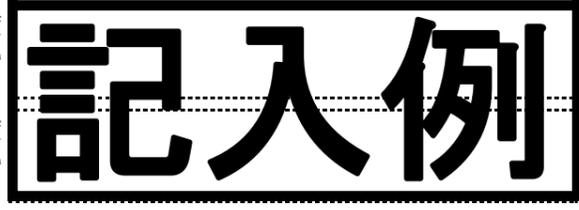
小社東洋経済CSRオンラインにご用意しております「ご回答の手引き」をご参照のうえ、ご回答ください。

●以下の各項、前回ご回答があった場合、その内容を青字で出力しております。  
 今回変更がなければそのまま、変更があれば、赤字でご修正または新規ご回答をお願いいたします。  
 ※ご返送いただけない場合は、青字表示データを中心に掲載させていただきます

**Q1 2023年度、2024年度それぞれ期末時点の従業員関連データをご回答ください**  
※記載基準はいずれも有価証券報告書記載の単体ベース、「従業員の状況」の「提出会社の状況」でお願いいたします。  
 なお、時点・基準が上記と異なる場合は、具体的な内容を注記欄にご回答ください

		合計(男女計)	うち男性	うち女性
従業員数	2023年度	1,722人	1,199人	523人
	2024年度	1,677人	1,158人	519人
平均年齢 ※	2023年度	35.8歳	36.8歳	33.2歳
	2024年度	34.9歳	36.2歳	33.5歳
勤続年数 ※	2023年度	16.2年	17.7年	15.9年
	2024年度	16.5年	17.9年	15.7年
平均年間給与	2023年度	7,028,562円	7,106,000円	6,950,000円
	2024年度	7,251,144円	7,360,000円	7,143,000円
臨時雇用者数 ※	2023年度	186人		
	2024年度	201人		
連結従業員数	2023年度	3,653人		
	2024年度	3,702人		
外国人従業員数	2023年度	3人		
	2024年度	5人		
連結外国人従業員数	2023年度	7人		
	2024年度	8人		

※「平均年齢」「勤続年数」:10進法で小数第1位まで、同第2位を四捨五入。「臨時雇用者数」:年間の平均人員数



**男女間における賃金格差の有無(1つ選択)**  
 1. あり 2. なし 3. 把握していない 4. その他 ( )

**Q2 離職者の状況(正社員のみ、定年退職を除く)についてご回答ください。集計対象期間もご回答ください(1つ選択)**

●期間 **①** 2024年4月～2025年3月 2. 1.以外の1年間 3. その他 ( )

	合計	内訳				
		早期退職制度利用	自己都合	会社都合	転籍	他
男性	16人	8人	7人	1人	0人	0人
女性	24人	3人	20人	0人	0人	1人
男女計	40人	11人	27人	1人	0人	1人

注記

(※参考) 前回の回答	合計	早期退職制度利用	自己都合	会社都合	転籍	他	(※参考) 前回注記
男性	15	5	9	1	0	0	
女性	32	10	22	0	0	0	
男女計	47	15	31	1	0	0	

**Q3 2024年度末時点での世代別従業員数(有価証券報告書ベース)をご回答ください**  
※「合計(男女計)」「うち男性」「うち女性」の各合計がQ1の2024年度従業員数と異なる場合は、その理由を注記欄にご回答ください

	合計(男女計)	うち男性	うち女性
30歳未満	482人	205人	277人
30～39歳	413人	233人	180人
40～49歳	330人	292人	38人
50～59歳	415人	393人	22人
60歳以上	37人	35人	2人

注記

(※参考) 前回の回答	(※参考) 前回注記
458 197 261	出向者を除く
408 235 173	
315 283 32	
420 400 20	
25 24 1	

**Q4 30歳平均月例賃金(大卒・総合職)と同最高・最低賃金をそれぞれご回答ください**

	30歳平均	30歳最高	30歳最低
2023年度	362,800円	388,600円	320,900円
2024年度	378,900円	390,500円	320,850円

注記(条件等)

※定義は「ご回答の手引き」をご参照ください。「最高」「最低」は、30歳月例賃金に差がある場合のみご回答ください

**Q5 年間総労働時間、月平均残業時間と同残業手当(2024年度実績、全従業員ベース)、残業時間削減の取り組みについてご回答ください**

項目(従業員1人当たり)	数値	注記	(※参考) 前回の回答・注記
年間総労働時間	2,107.8 時間/年		2003.2
月平均残業時間	18.5 時間/月		17.7 管理職は除く
月平均残業手当	46,250 円/月		44280

**残業時間削減に関する取り組みについて(1つ選択)**  
 1. 行っている 2. 行っていない 3. 今後予定 4. その他 ( )

**残業時間削減のための具体的な取り組みをご回答ください(150字程度以内)**  
残業を事前承認制にし、毎週水曜日をノー残業デーとしている

**Q6 多様な人材の役職登用状況(2024年度末、あるいは直近時点)についてご回答ください**

時点: **2024年4月** 現在(年月)

	女性人数	男性人数	外国人人数	女性比率
管理職	35人	214人	1人	14.1%
↳うち部長職以上	2人	25人	1人	7.4%
役員(執行役員を含む)	2人	14人	0人	12.5%
↳うち執行役員	2人	4人	0人	33.3%

(※参考) 前回の回答・注記 2023年4月 時点

	女性	男性	外国人	女性比率
	30	230	1	11.5%
	5	35	1	12.5%
	2	15	0	11.8%
	2	5	0	28.6%

※「管理職」とは、「部下を持つ職務以上の者、ならびに部下を持たなくともそれと同等の地位にある者」を指す。「役員」は除く。「女性比率」は、各男女合計中の女性比率(小数第1位まで、同第2位を四捨五入)。「役員」は、社内・社外問わず取締役・監査役および執行役員、執行役の合計

①多様な人材の管理職比率に関する目標値→ **日本人男性以外の管理職比率20%**  
 ②女性管理職比率に関する目標値→ **2025年末までに18%**  
※目標値・目標年次等を具体的にご回答ください(女性のみの目標値の場合は②のみ)。実績と目標の定義・基準が異なる場合は、注記欄に具体的にご回答ください

注記

**Q7 多様な人材の能力活用・基本理念・取り組みについてご回答ください**

**多様な人材の能力活用・登用を目的とした専任部署の有無(1つ選択)**  
 1. 専任部署あり 2. なし 3. 設置予定あり 4. その他 ( )

部署名( **ダイバーシティ推進部** ) 設置年月( **2007年4月** )

注記

**LGBTに対する基本方針(権利の尊重や差別の禁止等)の有無(1つ選択)**  
 ① あり 2. なし ~~3. 作成予定~~ 4. その他 ( )

**LGBTに関する取り組みの実施状況について(1つ選択)**  
 ① 行っている 2. 行っていない ~~3. 今後予定~~ 4. その他 ( )

**LGBTに関する具体的な取り組みをご回答ください(100字程度以内)**  
社内理解を深めるため、全社員対象の講習会等を実施。また、LGBTの学生を対象とした会社説明会も行っている

**ダイバーシティ(多様な人材活用)推進のための基本理念をご回答ください(100字程度以内)**  
持続的な成長に不可欠な経営戦略であり、個人を最大限に育成・活用することが事業活動の重要課題のひとつ。社員のみならず全ステークホルダーに対し、ダイバーシティ&インクルージョンを尊重する

**ダイバーシティ推進の中長期ビジョンをご回答ください(100字程度以内)**  
TK2025(東洋グループ中長期経営構想:東洋ビジョン2025)の実現に向けての戦略の1つとして多様性推進を掲げている

**ダイバーシティ推進について、最近の取り組み事例をご回答ください(100字程度以内)**  
ダイバーシティプログラムをグループ会社全体で実施。管理職向け講習会、女性社員の能力育成ワークショップなどを開催し、従業員満足度アンケートも開始

ご多用中誠に恐縮ですが、8月19日(火)の期限までに「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。

●以下、前回ご回答いただきましたご担当者様名等を出力しております。変更がある場合は、赤字でご修正ください

御社名： <b>㈱東洋経済工業</b>	ご回答担当者名： <b>東洋太郎</b>
※傘下会社名： (御社が純粋持株会社の場合に記入)	同、部署名： <b>CSR室</b>
※単体ベース以外での ご回答の場合、その内容：	同、TEL： <b>03-3246-0000</b>
小社使用コード： (この欄は小社で入力)	同、E-Mail： <b>tk@toyokeizai.co.jp</b>

小社東洋経済CSRオンラインにご用意しております「ご回答の手引き」をご参照のうえ、ご回答ください。

●以下の各項、前回ご回答があった場合、その内容を青字で出力しております。  
 今回変更がなければそのまま、変更があれば、赤字でご修正または新規ご回答をお願いいたします。  
 ※ご返送いただけない場合は、青字表示データを中心に掲載させていただきます

**Q1 CSR担当部署の有無(1つ選択)**

1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当 3. なし  
 4. その他 ( )

担当部署名( **CSR推進本部** )

※直近の名称でご回答ください。ご担当部署が複数ある場合はそれぞれご回答ください。  
 注記

**Q2 CSR担当役員の有無(1つ選択)**

1. 専任役員あり ~~2. 兼任役員あり~~ 3. なし 4. その他 ( )  
 担当役員名・肩書( )

担当役員の担当職域のうち、CSR関連業務が占める割合について(1つ選択)

1. 100% ~~2. 過半~~ 3. 半分以下

注記

**Q3 企業の持続可能性向上のための基本的な方針、姿勢、取り組みについてご回答ください**

中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念の有無(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 設定予定 4. その他 ( )

CSR活動におけるマテリアリティ(重要課題)の設定について(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 設定予定 4. その他 ( )

マテリアリティの内容をご回答ください(200字程度以内)

**社会貢献、コンプライアンス、環境保全**

CSR活動についての基本姿勢・CSR方針の文書化(CSR報告書等)の有無(1つ選択)

※環境対策に特化した環境報告書は「3.環境編」でお聞きしているため、ここでは除きます

1. あり 2. なし 3. 作成予定

注記

CSR活動の報告媒体について(1つ選択)

1. 紙媒体のみ ~~2. Webのみ~~ **3. 両方(紙・Web)** 4. 作成予定(いずれかも含む)  
 5. その他 ( ) 6. 媒体はない

➡上記で「1. 紙媒体のみ」「2. Webのみ」「3. 両方(紙・Web)」を選択した場合にご回答ください

●第三者の関与(レビュー・保証等)の有無(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. その他

機関名等( )

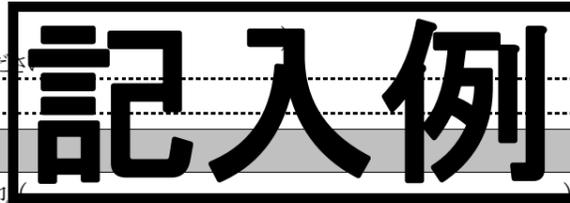
●英文での報告(原則公開されているもの)の有無(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 作成予定

注記

CSR活動の報告を行うWebサイトのアドレスをご回答ください

<https://biz.toyokeizai.net/~csr/>



(Q3続き)統合報告書発行の有無(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 作成予定 4. その他 ( )

ステークホルダー・エンゲージメント(双方向の意見交換会等)の実施の有無(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 実施予定 4. その他 ( )

具体的な内容をご回答ください(100字程度以内)

**年1回、NPO団体、地域住民、有識者と工場周辺環境等についての勉強会・意見交換会を実施**

CSR報告書等(Webも含む)におけるステークホルダー・エンゲージメントの内容の報告について(1つ選択)

1. 行っている 2. 行っていない 3. 検討中 4. その他 ( )

汚職・贈収賄防止に関する方針の有無(1つ選択)

- 1. あり** 2. なし ~~3. 作成予定~~ 4. その他 ( )

汚職・贈収賄防止に関する方針について、具体的な内容をご回答ください(100字程度以内)

CSRの活動や報告書作成におけるISO26000の活用について(1つ選択)

1. 活用している 2. 活用していない 3. 活用を検討中  
 4. その他 ( )

**Q4 「IR」、「消費者(取引先)対応」、「法令順守」、「社会貢献」、「商品・サービスの安全性・安全体制」に関する担当部署の有無(それぞれ1つ選択)**

IR担当部署 1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当  
 (部署名 **広報部IRグループ**)  
 3. なし 4. その他 ( )

注記

消費者(取引先)対応部署 1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当  
 (部署名 **お客様相談室**)  
 3. なし 4. その他 ( )

注記

法令順守に関する担当部署 1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当  
 (部署名 **コンプライアンス室**)  
 3. なし 4. その他 ( )

注記

社会貢献担当部署 **1. 専任部署あり** 2. 兼任部署で担当  
 (部署名 **社会貢献室**)  
~~3. なし~~ 4. その他 ( )

注記

商品・サービスの安全性・安全体制に関する部署 1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当  
 (部署名 **品質管理部**)  
 3. なし 4. その他 ( )

注記

**Q5 社会貢献活動、政治献金・ロビー活動支出額等についてご回答ください** ※各定義・回答の具体例は「ご回答の手引き」をご参照ください

■社会貢献活動支出額

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	2024年度
社会貢献活動支出額総額	<b>556</b>	<b>617</b>	<b>765</b>
└うち寄付金総額	<b>351</b>	<b>412</b>	<b>553</b>
└(うちマッチング・ギフト資金支援:会社支出分)	<b>0.5</b>	<b>0.4</b>	<b>0.6</b>
└うちその他社会貢献を目的とした各種事業への支出額	<b>201</b>	<b>205</b>	<b>212</b>

内容

注記

■政治献金・ロビー活動等支出額

※該当がない場合は「0」をご回答ください

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	2024年度
政治献金・ロビー活動等への支出額	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>0</b>

注記

**パーティー券を含む**

## 東洋経済／第21回CSR調査(2025年)

## 3.環境編

ご多用中誠に恐縮ですが、8月19日(火)の期限までに「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。

●以下、前回ご回答いただきましたご担当者様名等を出力しております。変更がある場合は、赤字でご修正ください

御社名： <b>株東洋経済工業</b>	ご回答担当者名： <b>東洋太郎</b>
※傘下会社名： (御社が純粋持株会社の場合に記入)	同、部署名： <b>環境管理部</b>
※単体ベース以外での ご回答の場合、その内容：	同、TEL： <b>03-3246-0000</b>
小社使用コード： (この欄は小社で入力)	同、E-Mail： <b>tk@toyokeizai.co.jp</b>

小社東洋経済CSRオンラインにご用意しております「ご回答の手引き」をご参照のうえ、ご回答ください。

●以下の各項、前回ご回答があった場合、その内容を青字で出力しております。  
今回変更がなければそのまま、変更があれば、赤字でご修正または新規ご回答をお願いいたします。  
※ご返送いただけない場合は、青字表示データを中心に掲載させていただきます

## Q1 環境対策担当部署の有無(1つ選択)

① 専任部署あり ② ~~兼任部署で担当~~ ③ なし ④ その他 ( )

担当部署名( **環境管理部** )

※直近の名称でご回答ください。ご担当部署が複数ある場合はそれぞれご回答ください

注記

記入例

## Q2 環境担当役員の有無(1つ選択)

① 専任役員あり ② ~~兼任役員あり~~ ③ なし ④ その他 ( )

担当役職名・肩書( **常務取締役環境管理部長** )

担当役員の担当職域のうち、環境関連業務が占める割合(1つ選択)

① **100%** ② 過半 ③ 半分以下

注記

## Q3 環境方針の文書化(環境報告書等。原則公開されているもの)の有無(1つ選択)

① **あり** ② なし ③ 作成予定

注記

## Q4 環境会計あるいはそれに準ずるものの有無(1つ選択)

① **あり** ② なし ③ 作成予定

⇒上記で「1. あり」「3. 作成予定」を選択した場合にご回答ください

費用と効果に関する金額把握について(1つ選択)

① ~~環境省ガイドラインに準拠して把握~~ ② 自社独自あるいは業界独自方法で把握 ③ **両方(1、2)**

④ 費用のみ金額把握 ⑤ 金額は把握していないが、一部物量は把握している

⑥ 特に把握していない ⑦ その他 ( )

環境会計あるいはそれに準ずるものの公開について(1つ選択)

① **公開** ② 非公開 ③ 公開予定

環境会計あるいはそれに準ずるものの算定範囲について(1つ選択)

① 単体ベース ② **連結ベース** ③ その他 ( )

注記

## Q5 環境データ等についてご回答ください

環境データにおける第三者検証・保証の有無(1つ選択)

① **あり** ② なし ③ 検討中 ④ その他 ( )

機関名等( **東洋経済サステナビリティ監査法人** )

注記 **保証範囲は国内連結会社、海外グループ会社は除く**

環境保全コスト (単位:百万円)	2023年度		2024年度	
	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト	<b>1,264</b>	<b>3,803</b>	<b>1,184</b>	<b>4,012</b>
上・下流コスト	<b>3</b>	<b>195</b>	<b>0</b>	<b>134</b>
管理活動コスト	<b>7</b>	<b>531</b>	<b>1</b>	<b>535</b>
研究開発コスト	<b>27</b>	<b>868</b>	<b>136</b>	<b>1,297</b>
社会活動コスト	<b>0</b>	<b>128</b>	<b>1</b>	<b>215</b>
環境損傷対応コスト	<b>0</b>	<b>133</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
合計	<b>1,301</b>	<b>5,659</b>	<b>1,322</b>	<b>6,193</b>

環境保全対策に伴う 経済効果(実質効果) (単位:百万円)	2023年度	2024年度
費用削減額	<b>1,166</b>	<b>922</b>
収益額(リサイクル等)	<b>697</b>	<b>773</b>
合計	<b>1,863</b>	<b>1,695</b>

環境保全効果に関する 環境パフォーマンス指標(環境負荷量)	2023年度	2024年度
総エネルギー投入量 (GJ)	<b>1,265,900</b>	<b>1,247,500</b>
特定管理対象物質投入量 (t)	<b>124</b>	<b>87</b>
水資源投入量 (m <sup>3</sup> )	<b>4,195,000</b>	<b>4,284,000</b>
温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	<b>65,441</b>	<b>62,814</b>
特定化学物質排出量・移動量 (t)	<b>467</b>	<b>587</b>
廃棄物等総排出量 (t)	<b>1,977</b>	<b>1,489</b>
リサイクル率(%)	<b>80.5</b>	<b>90.5</b>
総排水量 (m <sup>3</sup> )	<b>1,568,000</b>	<b>2,169,500</b>
NOX (t)	<b>140</b>	<b>132</b>
SOX (t)	<b>186</b>	<b>172</b>

注記 **集計範囲は国内連結会社、海外グループ会社は除く**

## スコープ3による温室効果ガス排出量の集計状況について(1つ選択)

① **集計している** ② 集計していない ③ 今後予定 ④ その他 ( )

サプライチェーン排出量(t-CO<sub>2</sub>)とスコープ3の算定対象のカテゴリー(すべて選択)について

	2023年度	2024年度
スコープ1	<b>9,241</b>	<b>8,800</b>
スコープ2	<b>56,200</b>	<b>54,014</b>
スコープ3※	<b>1,020,000</b>	<b>1,009,000</b>

※上記で「1. 集計している」を選択した場合にお答えください

算定対象カテゴリー(原則、2024年度の算定対象)※

<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4
<input checked="" type="checkbox"/> 5	<input checked="" type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input checked="" type="checkbox"/> 8
<input type="checkbox"/> 9	<input checked="" type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 12
<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> その他

注記

(サプライ  
チェーン  
排出量)

## Q6 環境監査の実施状況について(1つ選択)

① 定期的実施 [→実施頻度:内部監査( **年2回** ) 外部監査( **年1回** )]

② ~~不定期に実施~~ ③ 実施していない

④ その他 ( )

注記

## Q7 EMS(環境マネジメントシステム)の構築についてご回答ください

EMSの構築状況について(1つ選択)

① ISO14001認証を取得 ② ISO14001認証を取得予定

③ **自社独自のEMSを構築** ④ EMSは構築していない

⑤ その他 ( )

ISO14001以外、あるいは独自のEMSを設けている場合、具体的にご回答ください(150字以内)

**エコアクション21および、環境方針に基づいた独自の環境マネジメントシステムを運用**

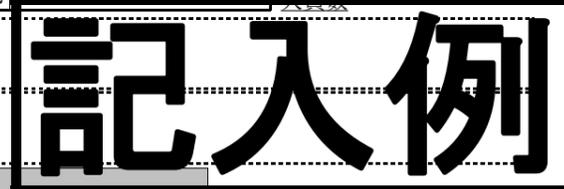
ご多用中誠に恐縮ですが、8月19日(火)の期限までに「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。
小社東洋経済CSRオンラインにご用意しております「ご回答の手引き」をご参照のうえ、ご回答ください。
※ご返送いただけない場合は、青字表示データを中心に掲載させていただきます。また、総合調査表をご回答いただく場合、本基礎調査表のご回答は不要でございます

御社名：(株)東洋経済工業
ご回答担当者名：東洋太郎
※傘下会社名：(御社が純粋持株会社の場合に記入)
同、部署名：CSR推進室
※単体ベース以外でのご回答の場合、その内容：
同、TEL：03-3246-0000
小社使用コード：(この欄は小社で入力)
同、E-Mail: tk@toyokeizai.co.jp

Q1 2023年度、2024年度それぞれ期末時点の従業員関連データをご回答ください
※記載基準はいずれも有価証券報告書記載の単体ベース。「従業員の状況」の「提出会社の状況」でお願いいたします。なお、時点・基準が上記と異なる場合は、具体的な内容を注記欄にご回答ください

Table with 4 columns: 従業員数, 平均年齢, 勤続年数, 平均年間給与, 臨時雇用者数, 連結従業員数. Rows for 2023 and 2024. Values include 1,722, 1,677, 35.8, 34.9, 16.2, 16.5, 7,028,562, 7,251,144, 186, 201, 3,653, 3,702.

※「平均年齢」「勤続年数」:10進法で小数第1位まで、同第2位を四捨五入。
「臨時雇用者数」:年間の平均人数



Q2 多様な人材の活用についてご回答ください

多様な人材の役職登用状況(2024年度末、あるいは直近時点)
時点: 2024年4月 現在(年月)
Table with 5 columns: 女性人数, 男性人数, 外国人人数, 女性比率. Rows for 管理職, うち部長職以上, 役員(執行役員を含む), うち執行役員.

Table with 4 columns: 女性, 男性, 外国人, 女性比率. Rows for 2023年4月時点.

※「管理職」とは、「部下を持つ職務以上の者、ならびに部下を持たなくともそれと同等の地位にある者」を指す。「役員」は除く。
「女性比率」は、各男女合計中の女性比率(小数第1位まで、同第2位を四捨五入)。「役員」は、社内・社外問わず取締役・監査役および執行役員、執行役の合計

- ①多様な人材の管理職比率に関する目標値→ 日本人男性以外の管理職比率20%
②女性管理職比率に関する目標値→ 2025年末までに18%

※目標値・目標年次等を具体的にご回答ください(女性のみ目標値の場合は②のみ)。実績と目標の定義・基準が異なる場合等は、注記欄に具体的にご回答ください
注記

多様な人材の能力活用・登用を目的とした専任部署の有無(1つ選択)

- 1. 専任部署あり 2. なし 3. 設置予定あり 4. その他( )
部署名(ダイバーシティ推進部) 設置年月(2007年4月)

注記

障害者雇用の取り組み ※2022～2024年度末時点における該当者数(実人数、短時間労働者を0.5人等とせず全員1人としてください)および障害者雇用率(算出方法は法定雇用率に準ずる)をご回答ください(雇用率は小数第2位まで、同3位を四捨五入)。法定雇用率2.5%(24年4月時点)

Table with 4 columns: 該当者数(実人数), 障害者雇用率. Rows for 22年度, 23年度, 24年度. Values include 30, 35, 40, 1.89%, 2.03%, 2.39%.

- 障害者雇用率に関する目標値→ 2025年度までに2.5%以上

注記

Q3 2022年4月1日入社者の定着状況についてご回答ください(学歴に関係なく、新卒入社者全員)
※2022年4月入社が0人の場合は前年(2021年4月→2024年4月)に置き換えてご回答ください。それ以外の場合はお問い合わせください

Table with 3 columns: 男女計, 男性, 女性. Rows for 2022年4月1日入社, うち2025年4月1日在籍者. Values include 17, 10, 7, 10, 6, 4.

Table with 3 columns: 男女計, 男性, 女性. Rows for 入社, 在籍. Values include 20, 12, 8, 13, 10, 3.

注記

Q4 年次有給休暇の取得状況についてご回答ください ※いずれも全従業員平均ベース(合計ではありません)。有休付与日数は繰越分を除く

Table with 4 columns: 年次, 有休付与日数, 有休取得日数, 取得率(小数第1位まで). Rows for 2022年度, 2023年度, 2024年度. Values include 19.7, 14.5, 73.6, 19.7, 15.3, 77.7, 19.7, 16.9, 85.8.

注記

Q5 CSR活動についてお答えください

CSR担当部署の有無(1つ選択)

- 1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当 3. なし 4. その他( )
担当部署名(CSR推進本部)

※直近の名称でご回答ください。ご担当部署が複数ある場合はそれぞれご回答ください

注記

CSR活動の報告媒体について(1つ選択)

- 1. 紙媒体のみ 2. Webのみ 3. 両方(紙・Web) 4. 作成予定(いずれかも含む)
5. その他( ) 6. 媒体はない

→上記で「1. 紙媒体のみ」「2. Webのみ」「3. 両方(紙・Web)」を選択した場合にご回答ください

- 第三者の関与(レビュー・保証等)の有無(1つ選択) 1. あり 2. なし 3. その他
●英文での報告(原則公開されているもの)の有無(1つ選択) 1. あり 2. なし 3. 作成予定

注記

CSR活動の報告を行うWebサイトのアドレスをご回答ください

https://biz.toyokeizai.net/-/csr/

NPO・NGO等との連携の有無(1つ選択)

- 1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. その他( )
主な連携先をご回答ください

東洋CSRNPO法人

Q6 サステナブル調達の取り組みについてご回答ください

サステナブル調達の実施について(1つ選択)

- 1. 行っている 2. 行っていない 3. 検討中 4. その他( )

Q7 御社が参画する地域社会参加活動について、具体的な事例を3つまでご回答ください(200字程度以内)

- ①秋田市の要請で大正期に建てられた英国風山荘を修復。企業メセナ活動の一環として開館
②主力の岡山工場で毎年「環境対話集会」を開催。工場見学の実施
③神戸市に「科学技術館」を開設し、弊社の技術開発の歴史を紹介

Q8 事業活動による環境への影響(気候変動、生物多様性等)についてご回答ください

気候変動対応に関する取り組みについて(1つ選択)

- 1. 行っている 2. 行っていない 3. その他( )

再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱等)の事業所、本社ビル等への導入について(1つ選択)

- 1. 行っている 2. 行っていない 3. 検討中 4. その他( )

サプライチェーン排出量(t-CO2)とスコープ3の算定対象のカテゴリー(すべて選択)について

Table with 3 columns: スコープ, 2023年度, 2024年度. Rows for スコープ1, スコープ2, スコープ3. Values include 9,241, 8,800, 56,200, 54,014, 1,020,000, 1,009,000.

Table with 4 columns: 算定対象カテゴリー(原則、2024年度の算定対象). Rows for 1-15 and その他. Includes checkboxes.

注記

●ご回答ありがとうございました。お手数ですが、「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。

調査表のご返送先 東洋経済新報社CSRデータ開発チーム 東洋経済「CSR調査」受入専用窓口 ◆Mail: accept-csr@toyokeizai.co.jp
住所: 〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

調査内容に関するお問い合わせ先 CSRデータ開発チーム (Mail: csr@toyokeizai.co.jp TEL:03-3246-5579)